

宮古体育学習会通信

世話人 山内 (宮古小)

2014. 12. 25 No 14

第14回 宮古体育学習会の報告 スペースを学ぶ

～アルティメット (ボール運動 ゴール型) を通して～

【参加者】

山内弘文・藤田沙織・沢田幸宏・菊池恵子・岩間富佐子・大坪晃子 (宮古小) 山野目隆・小野寺洋平 (船越小) 千葉健示 (藤原小) 三浦直・竹内勇 (鍬ヶ崎小) 立野貴芳 (大浦小) 久保一真 (崎山小) 小田誠 (高浜小) 小野甚市 (宮古教育事務所)・千葉美菜子 (千徳小)・加藤洋 (山田北小) 以上17名

11月26日(水)に第14回の学習会を行いました。岩手大学教育学部附属小学校の菅原純也先生を講師に、ボール運動における、スペースへの動き方・動かし方を学ぶ下位教材として、アルティメットを通し学習会を行いました。この日の6時間目には、岩手大学教育学部プロジェクト推進事業の一環として、本校の3年2組で、ラグハンドの公開授業・研究会をやり、更に学習会とともに贅沢な日程となりました。



ドッチビーを使います。
まずは対面パス



前方にむかって走り、ディスクを
キャッチ。点数化して行きます。



最後はゲーム。
アルティメット=究極という意味ど
おり運動量はすごいです。ディスクを使
い、パスをつないでゴールゾーンを目
指すシンプルなルールです。



菅原純也先生 ありがとうございます。

(感想)

- スペースを有効に使う動きを自然に習得できると感じました。
- かなり運動量があったため、目指す姿“輝く汗”を体感できました。とても楽しかったし、子ども達がとても喜ぶような内容になっていると感じました。
- パスの質の向上が得点につながるということを、考えさせながら子ども達に教えていきたいです。
- スペースを見つけて、ボールを持たない人の動き、苦手な子どもでも、ドッチビーの落ちるタイム差を生かせる運動だった。

第15回宮古体育学習会は、1月28日(水)18:30～19:30

会場 宮古小学校体育館

内容 ハンドボールの教材的価値について学ぶ

講師 釜石市立甲子小学校 校長 山本 繁先生 (日本ハンドボール協会小学生委員長)

○山本先生は、ハンドボールの特性を生かし、早くから岩手に、小学校体育の教材として普及してきた先生です。県書写研究会の会長や吹奏楽など、その活躍は多岐にわたっています。せっかくのチャンスですので、たくさんの先生方の参加をお待ちしております。

○学習会後の懇親会も企画しています。